

## 市場事業部門



執行役専務  
市場事業部門長  
宗正 浩志

**外国為替・デリバティブ・債券・株式等の市場性商品を通じたソリューション提供をはじめ、バランスシートの流動性リスクや金利リスクを総合的に管理するALM業務を行っています。**

市場事業部門は、マーケットの変化の兆しを察知し、大胆かつ機動的なポートフォリオバランスにより、安定的に収益を上げてきました。また、外貨調達力の強化を重要な戦略と位置付け、安定的かつコストを意識した効率的な資金繰り運営を通じ、SMBCグループの海外ビジネスをしっかりと支えています。

市場環境は、不透明さが一段と増えています。こうした環境下、お客さまのリスクヘッジや運用へのニーズは確実に高まっており、SMBCグループとして、いかにお客さまのニーズに応えていくか、その真価が問われています。

戦略事業領域のひとつである「セールス&トレーディング業務の収益力強化」の担い手として、これまで培ってきたマーケットに関する知見や経験を最大限活用し、お客さまへの最適なソリューション提供に貢献していきます。

### 2017年度の振り返り

市場環境の変化が激しい中、日本株を中心とした機動的なポートフォリオ運営により収益を計上し、連結業務粗利益は前年度比64億円増の3,562億円、連結業務純益は同74億円増の3,198億円、ROEは33.5%となりました。

セールス&トレーディングでは、国内外のプロダクトセールス部隊の連携強化によるソリューション提供力の向上、および、株式トレーディング力の強化による商品提供力の拡充等の施策が奏功し、収益を着実に伸ばしています。

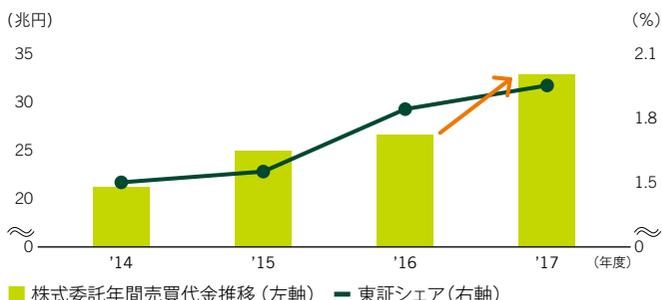
	2017年度	前年度比*1
業務粗利益	3,562億円	+64億円
経費	▲539億円	▲33億円
(経費率)	15.1%	▲0.7%
業務純益	3,198億円	+74億円
ROE*2	33.5%	—
リスクアセット*3	5.9兆円	—

\*1 金利・為替影響等調整後 \*2 規制強化を踏まえたリスクアセットに基づく内部管理ベース。またバンキング勘定の金利リスク見合いを含まず \*3 現行規制ベース

#### セールス&トレーディング収益



#### 株式委託年間売買代金推移、東証シェア (SMBC日興証券)



## 重点戦略

### ■ 環境変化に応じた機動的なポートフォリオ運営

各国のディーラーが議論を重ね様々なシナリオを想定することで、先見性を磨きリスク・リターンの最適化を図っています。いかなるマーケット変動に対してもその変化の兆しをプロアクティブに察知し、大胆かつ確かなオペレーションによって収益機会を捉えていきます。

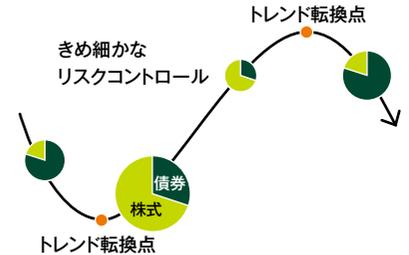
### ■ マーケットを通じたソリューション提供～セールス&トレーディング業務～

お客さまのヘッジや運用のニーズにお応えすべく、市場環境や経済動向のきめ細かな情報提供を行うとともに、外国為替・デリバティブ・債券・株式等の商品ラインアップ拡充やタイムリーなソリューション提供を通じて、顧客満足度の向上によるグループ収益の拡大を図ります。

また、各種電子取引の利便性向上と積極的な展開に注力し、より幅広いお客さまのニーズにお応えしていきます。

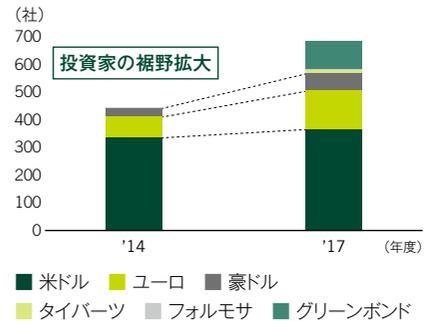
### ■ 外貨調達力の強化

SMBCグループ全体の海外ビジネスを支えるべく、調達手段の多様化や投資家層の裾野拡大を通じて、外貨調達の安定性を向上させつつ、国際金融規制にも対応した適正なバランスシートコントロールを実現していきます。



三井住友銀行ディーリングルーム

### 社債投資家数



## SDGs への取組

外貨の資金調達に際しては、グリーンボンドの発行を通じ、環境ビジネスの推進・環境リスクへの対応・環境負荷軽減に貢献します。

また、セールス&トレーディング業務の推進においては、金融取引の電子化推進により、利便性の高い金融市場づくりを目指すとともに、マーケット業務に関するソリューション提供を通じて、健全で活力のある金融・資本市場の発展に貢献していきます。

➡ **SMBCグループのSDGsへの取組については、P59をご参照ください。**



#### ■ グリーンボンドの発行



#### ■ 金融取引の電子化推進



#### ■ マーケット業務に関するソリューション提供

